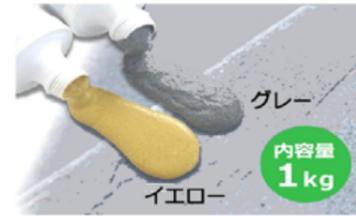


こんな商品を在庫しています

ヘラで塗るだけで
強力なザラザラ面に!

強力すべり止め剤

ナルグリップ



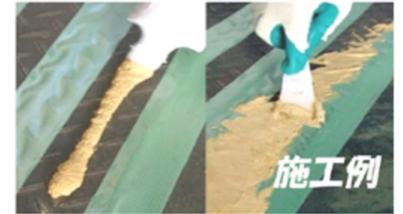
一回塗るだけで強力なすべり止めになります。
コンクリート、アスファルト、鉄、木材、石材
など、幅広い素材に使用可能です。



滑りやすい階段などに

- 下地剤不要で直接塗れます。また、水性の為、引火性や刺激臭が無く安心です。
- すり減ってもそのまま上から再塗布可能

グレー、イエローの2色あり **¥3,190-**(税込)



施工例

お客様の声

『コーキングノズルストッパー』



平尾 和重

今回お客様のご紹介で在庫になった商品でカートリッジコーキングの乾き防止キャップです。コーキング使用時にカットしたノズルの先端に差込むだけで空気を遮断！再度使用する際には引き抜くだけですぐ使えます。

また、任意の長さにカットする事で様々な先端径のノズルに使用できる優れたもの。先端をテープ等で巻いて一時保管した場合ですと新たに使用する際にノズルの中の固まった塊を取り出す必要がありました。この商品はそんなストレスを解消してくれるおススメの一品です。

※一時保管用ですので長期間の保管には向きません。

ちょいメッセ



『節分と立春』

我彦 武大

今年の節分は例年よりも1日早い2月2日(火)が節分の日となります。節分が2月2日になるのは、1897年以来、124年ぶりだそうです。

「節分」というのは、各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日のことを指していました。現在の節分は立春の前日とされており、立春の日がいつになるのかによって、節分の日が決まります。

今年の立春の日が変動したのは、地球の公転周期が約365日6時間と、1年間の365日から微妙にズレているため生じます。立春は1年間を太陽の動きに合わせて24等分した「二十四節気」のうちの一つです。毎年二十四節気などは、国立天文台が天文観測に基づいて定めているそうです。また2025年の節分は2月2日になるそうです。

立春は寒さが1番ピークの時期になります。日照時間が1番短い冬至(12月22日頃)ではないのかと思いますが、太陽からの光で地球が温まるのには約1ヶ月程の時差があります。そのため、一年で一番寒くなるのは冬至の約1か月後の大寒(1月20日頃)～立春(2月4日頃)になります。

立春を超えると寒さが段々和らいでいくと考えれば、春が楽しみになってきますね。

ねもかな通信



No.115

令和3年
2月号

発行人
根本金物

〒960-8032
福島市陣場町9-28

TEL 024-534-0962
FAX 024-531-3024

営業日

月曜日～土曜日

土曜日

午前中営業

定休日

日曜日・祝日

優ライフ情報

今月のわいわいクラブは
お休みです。

福

『気が付かないうちに変わって行く』

根本 勉

今回の米大統領選挙は大混乱の末ようやくジョー・バイデン氏に決まりましたが、テレビや新聞などのメディアやマスコミでは早々に「バイデン勝利！」と報じておりました。私はどちらが勝つか負けるというよりも、インターネットで配信される内容とテレビや新聞等メディアやマスコミから報じられる内容とは真逆なので、一体どちらの情報か正しいのか判別が付きませんでした。

「不正は許さない！バイデンを認める訳にはいかん！」とか「不正は確定していない！早くトランプは負けを認めないと多くの血が流れる！」といった両者一步も譲らないまま、1月20日を迎えました。

私はテレビや新聞は見られないので、情報の入手ルートはもっぱらインターネットに限られます。しかし今回ネット番組の中で大統領選挙に

関する記事や動画が予告無しに消されるとか、中国と国名をいっただけで警告を受けるとか、ましてやトランプ大統領のツイッターが消されるとか、かつてなかったような事が起きています。あるジャーナリストは「もはや地球規模のメディアによる言論統制ではないか？」と言う方もおられます。そうなるとうかが正しい情報なのか、自分には判別しきれない。

一つだけ共通して言えることは情報の世界でも、今までとは違う変化が起きてると云う点です。更にネット情報もあてにならないものも混在しているの、尚更困惑する場合があります。

ここまで情報が氾濫してくると自分でよく考えて答えを出す事が今までよりも求められる時代に突入してきたのでしょうか？何となくではあります。今までなら新聞やテレビからの情報だけでもさほど気にしませんが、今回の米大統領選挙のメディアからの発表はかなり一方に偏った報道に感

『トウガラシ大根か?』

根本 三枝子



じられました。前述の通り私はトランプ派でもバイデン派でもないのですが、最近感じるのはアメリカも日本も似たような傾向にあるような気がします。はたして皆様はこのような事をどう感じられますでしょうか？

昨年は、簡単にできる保存野菜はないかと思ひ、食べきりサイズの青首大根を植えました。

今までの経験で青首大根は甘くて美味しいものと思ひ込んでいましたので、食べきりサイズのミニを選びました。収穫時期になり、程よいものを選んで大根おろしで食べてみました。『甘く・なぐれ...』の私の呪文もどく吹く風か、口の中はヒリヒリ・唇は赤くなり、辛くてから

くて食べられたものではありませんでした。

どうしようかと思案していた所、幼少の頃、母親から辛い大根は雪の下になると甘くなると云うようなことを言っていたような気がしました。

そこで我が家の大根はしみない様に、植えたまま少し土をかけて見守ることに致しました。

年が明け念願の雪も降りそろそろ甘くなったかなあくとさっそく収穫！大根おろしで食してみました

『あ〜やっぱりからいや〜』以前は一口食べただけでまったく食べられなかったのですが、今回は若干甘みが増し少しなら食べられるようになりました。

楽しみにしていた大根おろしを美味しく食べれないのは残念ですが、ぶり大根でいただきました。(まさか主人のすりおろしかたに問題があったりして?)



メンバーの山部屋



『開かずのポスト』



平尾 和重

新年早々、取出口が開かなくなっていた我が家のダイヤル式ポストがとうとう開きました！ダイヤル番号をきちんと控えておく前に子供のイタズラで開かなくなっていたのですが、年賀状を取りに行く際に偶然合わせたダイヤル番号で軽快な音と共にオープンしたのです。

お恥ずかしながらついつい大声を出して家族を呼びに行ってしまった。それまでも何度も色々な番号でチャレンジしていたのですが開けられず、上部の投入口より強引に手を入れるかトングのようなもので郵便物を取り出しておりました。

開かずの期間およそ4年！ウソのように楽になったポストに我が家では大喜びです。年明けにとっても縁起の良い出来事でした。



『腰痛』

佐藤 信吾

先日、生まれて初めて腰痛というものを経験しました。今までは重いものを持つ時も体勢を低くし、腰だけに負担をかけないように気を付けていたつもりだったのです。

しかし、事件は現場（根本金物店内）で起こりました。狭い通路でモルタルを腕の力だけで持ち上げたところ、腰に違和感が。腰の筋肉（脂肪？）がニュニユ〜と引っ張られていくような感覚に襲われ、その後痛みが。その日の夜は、もう自分も10代20代の身体ではないんだと心で泣きながら自身に言い聞かせて床に就きました。

ところが1日経ったらほぼ回復したので、やっぱり自分はまだまだ若いんだと改めて感じました（笑）皆様も重いものを持つ時にはくれぐれもご注意下さい！



『お米』

我彦 武大

今まで米と言えば会津産のコシヒカリばかり食べていましたが、とあるテレビ番組で米の特集をやっているのを見て、他の米の品種に興味を持ちました。

そこでまず山形のつや姫を買って食べてみました。旨味や甘味が強く、おいしかったです。ただ米がぬかの臭みが強く、研いだときも4回くらいすすぎました。食べてはおいしいのですが、すこし手間のかかる印象でした。

また富山、福井に行った時に米がうまかったので、あちらで作っているミルキークイーンも食べてみました。旨味や甘味はつや姫ほどではないのですが、粘りが強く上品な味わいで、おかずがすすむような米だと思います。また冷めてもおいしいので弁当に最適です。臭いもほとんどしないのと、研ぎも2回くらいで済むので、手間があまり掛からず忙しい方向けの米だと思います。

正直どれがいいかと言われると甲乙付けがたいくらいすごく良く、品種改良や栽培方法などの努力を重ねているのだと感じました。そんなことよりも早くおいしいおかずを作ってくれるお嫁さんを見つけろ、と言われそうな今日この頃です。

行け！
ねもかな園芸部

結果発表

全員が大苦戦の桜島大根の栽培レースも今号で最終回とさせていただきます。冬の厳しい寒さによりこの先の成長が見込めないため、ひとまず1月で収穫することに。果たして出来栄はどうか、各メンバーが丹精込めて栽培した桜島大根をご覧ください！



共同印刷株式会社 鈴木様

残念な結果に終わりました！今回は、東北の気候風土に適さなかったのでは？次回は育てやすいものでお願いします。



根本 三枝子

雪にも負けず頑張っている桜島大根。収穫するにはちょっと可哀そうになるくらいの大根。じゃあ抜くよ、と声をかけながら1本だけ収穫するも思ったとおりネズミの尻尾のようでした。やはり肥料も大切ですが日当たりの良い場所が必要ですね！自分は栄養も日光も取りすぎるくらいなのですがね（'▽`*）



平尾 和重

葉っぱ自体はあまり枯れてはいないのですが、これ以上成長が見込めないで収穫しました。大きくならなかった原因としては種蒔き時期が遅かったのではないかと思います。収穫した大根ですが、大きなカブのようなものではなく小カブのような姿でした。実際にその姿をみるとガッカリします。残りは可哀想なので収穫せず、春先に花を咲かせて種取りをしてみようと思います。



佐藤 信吾

一番育ちが良さそうだったものを収穫！（葉っぱはだいぶしおれてしまいました。）な、なんと！親指くらいのサイズ…がっかり。やはり種蒔きが遅かったのと、プランターに密集させてしまったのが原因でしょうか？全く育ちませんでした。残念！



我彦 武大

無事に収穫というよりは、寒さで凍って腐る前に採ってみたいという感じです。サイズは10~15cm（どこまで身でどこから根っこかがわからないため）でした。適温が最低でも15℃ということなので、春ぐらいにもう一度栽培してみたいですね。

今回の優勝者は……ありません！全員がまさかの失敗という結果に。

原因としては、種まきの時期が遅すぎたことに尽きます。期待して頂いた読者の皆様にはビッグな桜島大根をお見せしたかったのですが、力不足でした。ただ、ねもかな園芸部はまだ色々なものに挑戦いたします！次回にご期待くださいませ。